

下田市立中学校再編検討会議 中学校視察

日 時 平成 28 年 11 月 30 日 (水) 午前 9 時から午前 11 時

行 程 以下のとおり

9:00	南豆衛生プラント駐車場集合・出発
9:05	下田中学校着 会議室にて：教育長あいさつ ⇒ 施設概要説明 ⇒ 質疑 ⇒ 校内見学 校内見学 (校舎 1 階 ⇒ 2 階 ⇒ 体育館 ⇒ グラウンド)
10:00	下田中学校終了
10:05	稲生沢中学校着 会議室にて：施設概要説明 ⇒ 質疑 ⇒ 校内見学 校内見学 (校舎 4 階 ⇒ 3 階 ⇒ 2 階 ⇒ 体育館 ⇒ グラウンド)
10:40	稲生沢中学校終了
11:00	南豆衛生プラント駐車場・解散

出席者 会長ほか委員 11 人 事務局 4 人 計 15 人

会長	佐々木 文夫	下田市教育長
委員	竹内 信子	下田市立稲梓小学校校長
委員	黒田 英津子	下田市立浜崎小学校校長
委員	渡邊 篤之	下田市立大賀茂小学校校長
委員	森本 秀樹	下田市立稲梓中学校校長
委員	鈴木 徹弥	下田市立稲生沢中学校校長
委員	渡邊 久志	下田市立下田中学校校長
委員	渡邊 洋之	下田市区長連絡協議会稲生沢地区会長 (東本郷区長)
委員	山田 徳次	下田市区長連絡協議会稲梓地区会長 (箕作区長)
委員	外岡 勝博	下田市区長連絡協議会朝日地区会長 (大賀茂区長)
委員	鈴木 康	下田市区長連絡協議会白浜地区会長 (板戸区長)
事務局長	峯岸 勉	下田市教育委員会学校教育課課長
事務局	山梨 弘樹	下田市教育委員会学校教育課参事
事務局	吉田 康敏	下田市教育委員会学校教育課学校教育係長
事務局	土屋 真一郎	下田市教育委員会学校教育課技師

※ 裏面に質疑内容記載

質 疑 以下のとおり

【下田中学校】

- Q 1. 静岡県防災棟が建設されることに伴い裏山が造成されているが、完成はいつごろになるか。
- A 1. 現在は斜面の造成を行っており来年度あたりに造成は完了予定。その後現在の高齢者生きがいプラザがある位置に建物が建設される。完成は2～3年後か。
- Q 2. 説明の中で普通教室が24クラス分必要であるとあったが、そこには美術室などの専科教室は含まれているか。
- A 2. 含まれていない。別に必要となる。
- Q 3. 敷地の中にその他実習用地というものがあるが、何に使っているのか。
- A 3. 昔陸上部が存在した時はそこを使用していた。現在は山の陰になることもあり日当たりが悪く使っていない。
- Q 4. 一時的にプレハブを建てることになると思うが、それはその他実習用地に建てることは可能か。
- A 4. 本校舎と距離ができてしまうため連絡や移動等の問題もあり建設は難しいと考える。本校舎に隣接する形になる。
- Q 5. 市町と語る会で保護者負担が0であれば統合は可能であると訴えたが、教育委員会としてはどのように考えているか。
- A 5. 保護者負担については、現状行っている負担以上の負担はさせないということで説明している。もちろん保護者負担が0となるのが理想である。
- Q 6. もし保護者負担を0にした場合は、その財源として市民にごみの減量呼び掛けたり他のランニングコストを抑えることでそれに見合う程度の財源が捻出されるのではないかと考える。
- A 6. 費用については正確には算出できていないが、保護者負担を0にすることについて強く要望していく。
- Q 7. 前回（H19）の再編が失敗したのは、財政的な基準をいつまでも決めなかったことが原因で統合がとん挫した。

【稲生沢中学校】

- Q 1. 借地があるが、借地料はいくら払っているか。
- A 1. 100万円／年程度。
- Q 2. 敷地はもっと広くならないか。
- A 2. 最低必要な教室を設置するだけでも現校舎では足りないし、増改築あるいは新築する必要がある。その場合は、敷地についてももう少し広いものが必要であろう。その場合は隣地を購入または借りることが想定される。
- Q 3. 総合教育会議において2校を選択した理由は、稲生沢中を入れた理由。
- A 3. 報告書にも説明してあるが、国の設置基準では、稲生沢中でも現状の要件としてはクリアしている。ただしもう少し広い建物は必要であろう。そのために候補地として選択された。また稲生沢中はほかの3校に比較して市の中心部にあり、バス路線等通学のことを考慮した場合、中心に近いと考えられる。